

## 三重県の将来人口に関するシミュレーション結果

## ○三重県の将来人口に関するシミュレーションの考え方

将来人口に関する政策シミュレーションを行うには、自然増減に関する前提条件としての「合計特殊出生率」と、社会増減に関する前提条件としての「転入超過数」の仮定が必要です。

これらの前提条件の仮定に関する現時点での案は以下のとおりです。

## 【合計特殊出生率】

パターン1：「希望がかなうみえ 子どもスマイルプラン」の総合目標である「概ね10年後（2025年）に合計特殊出生率を希望出生率である1.8台に引き上げる」を前提に2025年までの出生率を設定。その後、そのまま定率で人口置換水準である2.1まで引上げ、以降、2.1で安定化させるケース（※）

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
出生率	1.5	1.65	1.8	1.95	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1

パターン2：2025年まではパターン1と同様に設定。その後、人口置換水準である2.1に到達する時期を国の長期ビジョンに合わせ2040年に設定し、以降、2.1で安定化させるケース（※）

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
出生率	1.5	1.65	1.8	1.9	2.0	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1

※ 国の長期ビジョンで示された2060年に1億人程度の人口を確保する将来推計では、2020年に出生率=1.6程度、2030年に1.8程度まで向上し、2040年に人口置換水準（約2.1）が達成されるケースを想定している。

## 【転入超過数】

パターン①：2012～2014年までの直近3カ年の転入超過数の平均約-3,000人から5年後の2020年には-1,500人、2025年には0人に引き上げ、以降、0人で安定化させるケース

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
超過数	-3,000	-1,500	0	0	0	0	0	0	0	0

パターン②：2012～2014年までの直近3カ年の転入超過数の平均約-3,000人が2040年に0人になるよう定率で引き上げ、以降、0人で安定化させるケース

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
超過数	-3,000	-2,400	-1,800	-1,200	-600	0	0	0	0	0

パターン②'：2012～2014年までの直近3カ年の転入超過数の平均約-3,000人が2040年に0人になるよう定率で引き上げ、その後も定率で転入超過数を増加させるケース

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
超過数	-3,000	-2,400	-1,800	-1,200	-600	0	600	1,200	1,800	2,400

パターン③：2012～2014年までの直近3カ年の転入超過数の平均約-3,000人から5年後の2020年には-1,500人、2025年には人口の社会増減が転出超過トレンドに転換した1999年から2014年までの平均約-1,300人を-1,000人まで引き上げ、以降、-1,000人で安定化させるケース

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
超過数	-3,000	-1,500	-1,000	-1,000	-1,000	-1,000	-1,000	-1,000	-1,000	-1,000

## 【三重県の将来人口のベース推計とシミュレーションの条件】

【ベース推計(国立社会保障・人口問題研究所(社人研)推計準拠)】

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
合計特殊出生率	1.47	1.44	1.41	1.42	1.42	1.42	1.43	1.43	1.43	1.43
転入超過数(1年)	-1,189	-650	-415	-436	-339	-9	26	2	45	119

【シミュレーションの条件:合計特殊出生率パターン1】

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
合計特殊出生率	1.5	1.65	1.8	1.95	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1
1-① 転入超過数(1年)	-3,000	-1,500	0	0	0	0	0	0	0	0
1-② 転入超過数(1年)	-3,000	-2,400	-1,800	-1,200	-600	0	0	0	0	0
1-②' 転入超過数(1年)	-3,000	-2,400	-1,800	-1,200	-600	0	600	1,200	1,800	2,400
1-③ 転入超過数(1年)	-3,000	-1,500	-1,000	-1,000	-1,000	-1,000	-1,000	-1,000	-1,000	-1,000

【シミュレーションの条件:合計特殊出生率パターン2】

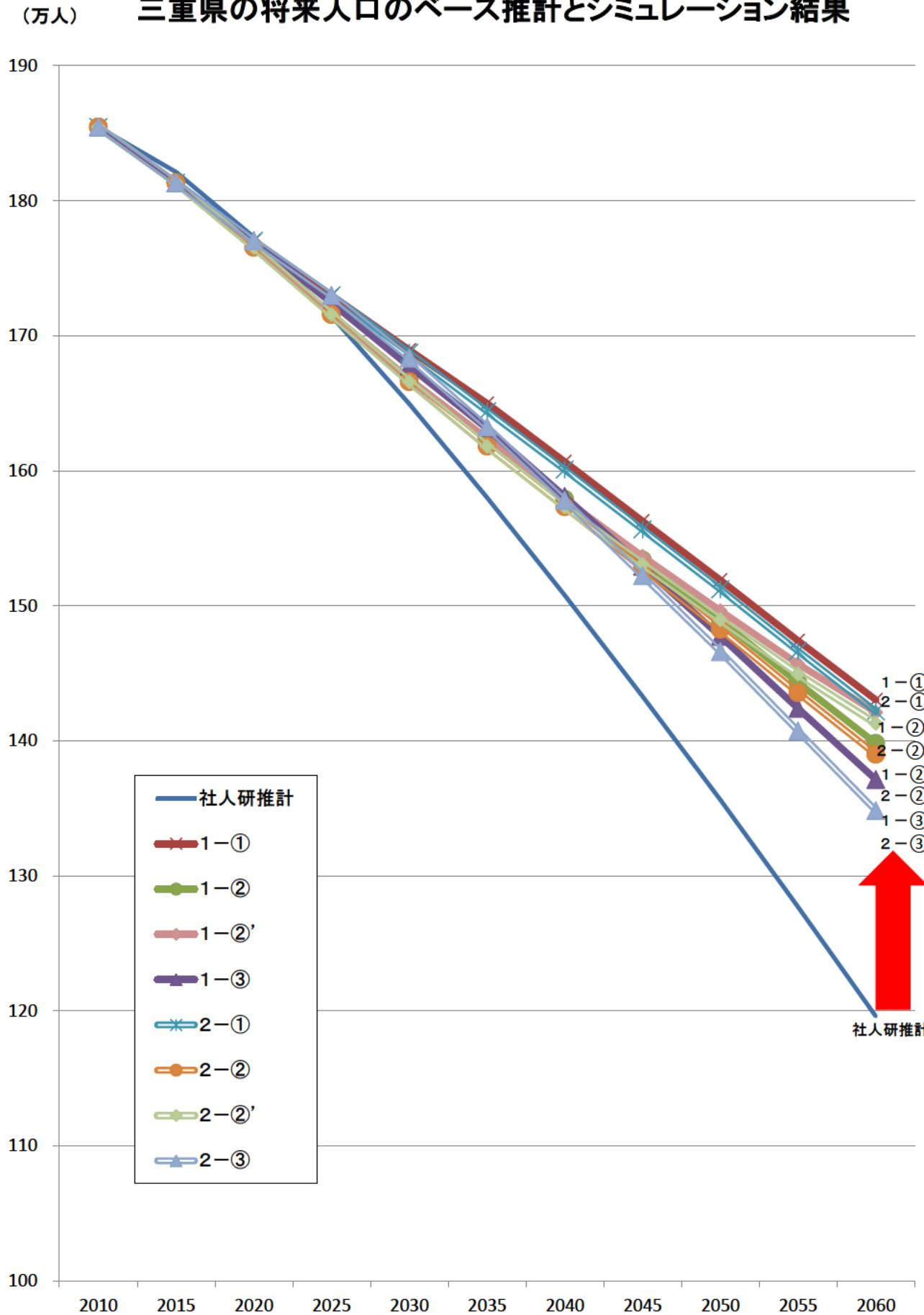
	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
合計特殊出生率	1.5	1.65	1.8	1.9	2	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1
2-① 転入超過数(1年)	-3,000	-1,500	0	0	0	0	0	0	0	0
2-② 転入超過数(1年)	-3,000	-2,400	-1,800	-1,200	-600	0	0	0	0	0
2-②' 転入超過数(1年)	-3,000	-2,400	-1,800	-1,200	-600	0	600	1,200	1,800	2,400
2-③ 転入超過数(1年)	-3,000	-1,500	-1,000	-1,000	-1,000	-1,000	-1,000	-1,000	-1,000	-1,000

シミュレーション結果  
(人口減少に歯止めがかかる場合)

2060年人口:1,430,277人  
 2060年人口:1,421,751人  
 2060年人口:1,421,094人  
 2060年人口:1,412,914人  
 2060年人口:1,398,088人  
 2060年人口:1,389,872人  
 2060年人口:1,371,285人  
 2060年人口:1,348,292人

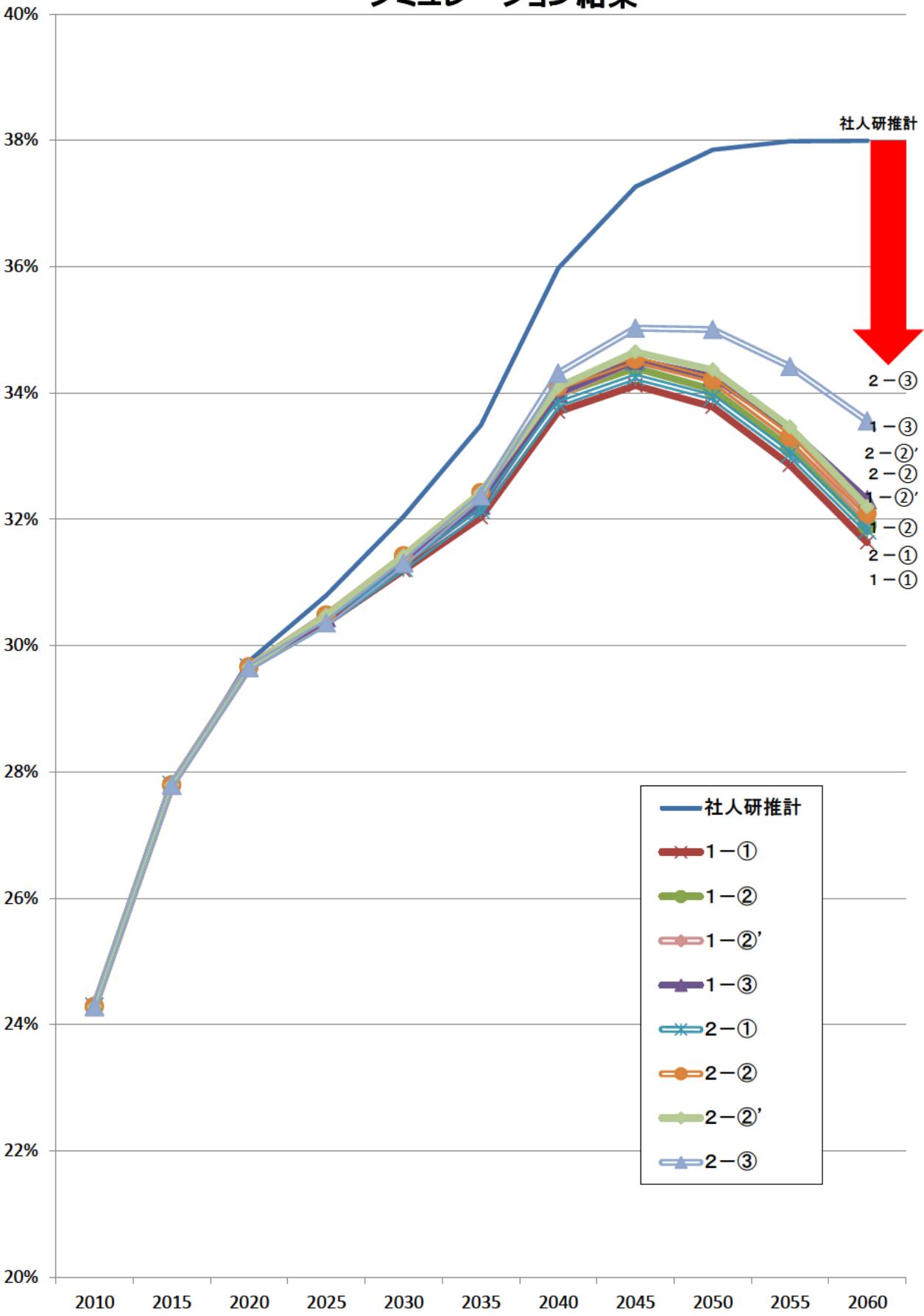
2060年人口:1,195,968人 — ベース推計(このまま推移した場合)

## 三重県の将来人口のベース推計とシミュレーション結果



(注1)ベース推計は、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」による。2040～2060年は、2040年までの仮定等を基に、三重県戦略企画部において機械的に延長したものである。  
 (注2)シミュレーション結果は、国立社会保障・人口問題研究所における人口の将来推計を参考にしながら、「合計特殊出生率」及び「転入超過数」の仮定値を変更した場合について、三重県戦略企画部においてシミュレーションを行ったものである。

# 三重県の将来老年人口比率のベース推計とシミュレーション結果



2060年老年人口比率: 38.0% — ベース推計(このまま推移した場合)

2060年老年人口比率: 33.6%

- 2060年老年人口比率: 32.3%
- 2060年老年人口比率: 32.2%
- 2060年老年人口比率: 32.1%
- 2060年老年人口比率: 32.0%
- 2060年老年人口比率: 31.9%
- 2060年老年人口比率: 31.8%
- 2060年老年人口比率: 31.6%

シミュレーション結果  
(人口減少に歯止めがかかる場合)

## 【三重県の総人口と将来老年人口比率のベース推計とシミュレーション結果】

【ベース推計(国立社会保障・人口問題研究所(社人研)推計準拠)】											
	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
総人口	1,854,694	1,821,237	1,773,206	1,714,490	1,649,458	1,580,095	1,507,646	1,432,841	1,356,299	1,276,780	1,195,968
老年人口比率	24.3%	27.8%	29.8%	30.8%	32.0%	33.5%	36.0%	37.3%	37.9%	38.0%	38.0%

【シミュレーション結果】												
	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	
1-①	総人口	1,854,694	1,813,256	1,770,275	1,729,944	1,689,385	1,649,933	1,606,711	1,562,636	1,519,085	1,474,166	1,430,277
1-①	老年人口比率	24.3%	27.8%	29.6%	30.4%	31.2%	32.0%	33.7%	34.1%	33.8%	32.9%	31.6%
1-②	総人口	1,854,694	1,813,256	1,765,552	1,715,697	1,667,837	1,623,822	1,578,926	1,533,789	1,489,095	1,443,055	1,398,088
1-②	老年人口比率	24.3%	27.8%	29.7%	30.5%	31.4%	32.3%	34.0%	34.4%	34.1%	33.1%	31.9%
1-②'	総人口	1,854,694	1,813,256	1,765,552	1,715,697	1,667,837	1,623,822	1,578,926	1,536,639	1,496,284	1,456,879	1,421,094
1-②'	老年人口比率	24.3%	27.8%	29.7%	30.5%	31.4%	32.3%	34.0%	34.5%	34.2%	33.3%	32.0%
1-③	総人口	1,854,694	1,813,256	1,770,275	1,724,434	1,677,407	1,631,248	1,580,929	1,529,236	1,477,389	1,423,923	1,371,285
1-③	老年人口比率	24.3%	27.8%	29.6%	30.4%	31.3%	32.2%	34.0%	34.5%	34.3%	33.4%	32.3%
2-①	総人口	1,854,694	1,813,256	1,770,275	1,729,944	1,687,431	1,644,096	1,600,876	1,556,525	1,512,168	1,466,464	1,421,751
2-①	老年人口比率	24.3%	27.8%	29.6%	30.4%	31.2%	32.1%	33.8%	34.3%	33.9%	33.0%	31.8%
2-②	総人口	1,854,694	1,813,256	1,765,552	1,715,697	1,665,923	1,618,197	1,573,304	1,527,898	1,482,428	1,435,632	1,389,872
2-②	老年人口比率	24.3%	27.8%	29.7%	30.5%	31.4%	32.4%	34.1%	34.5%	34.2%	33.3%	32.1%
2-②'	総人口	1,854,694	1,813,256	1,765,552	1,715,697	1,665,923	1,618,197	1,573,304	1,530,748	1,489,629	1,449,485	1,412,914
2-②'	老年人口比率	24.3%	27.8%	29.7%	30.5%	31.4%	32.4%	34.1%	34.7%	34.4%	33.5%	32.2%
2-③	総人口	1,854,694	1,813,256	1,770,275	1,729,943	1,683,523	1,632,528	1,578,000	1,522,220	1,465,944	1,407,301	1,348,292
2-③	老年人口比率	24.3%	27.8%	29.6%	30.4%	31.3%	32.4%	34.3%	35.0%	35.0%	34.4%	33.6%

(注1)ベース推計は、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」による。2040~2060年は、2040年までの仮定等を基に、三重県戦略企画部において機械的に延長したものである。

(注2)シミュレーション結果は、国立社会保障・人口問題研究所における人口の将来推計を参考にしながら、「合計特殊出生率」及び「転入超過数」の仮定値を変更した場合について、三重県戦略企画部においてシミュレーションを行ったものである。